

第60回 全日本中学校長会研究協議会

福島大会

平成21年10月28日・29日・30日 郡山市



第1日 10月28日(水)

11:00	11:30	13:50	14:00	17:00	18:00	20:00
受付	全日中 常任理事会	受付	全日中 理事会		レセプション	
	12:30	13:00	14:30	14:30	15:00	17:00
	受付	全体協議会 運営委員会		受付	分科会 運営委員会	

第2日 10月29日(木)

時程	行事	実施内容	時間
8:45	受付	・会場準備 ・各係配置 ・受付名簿の照合 ・資料配付 ・式典準備完了	45分
9:30	開会式	1 開式のことば 2 国歌斉唱 3 あいさつ ・大会実行委員長 ・大会会長 4 祝辞 ・文部科学大臣 ・福島県知事 ・福島県教育委員会教育長 ・郡山市長 5 来賓紹介 6 祝電披露 7 閉式のことば	40分
10:10	休憩	来賓、主催者等降壇 ステージ模様替え	10分
10:20	全体協議会	1 開会のことば 2 議長団あいさつ 3 全体協議 第1研究協議題(全日中) 第2研究協議題(愛媛県) 4 宣言決議の提案 5 閉会のことば	60分
11:20	休憩	議長団等降壇 ステージ模様替え	15分
11:35	アトラクション	郡山第二中学校管弦楽部 諸連絡	25分
12:00	昼食移動	昼食の配布 分科会会場への案内	100分
13:40	分科会	1 開会のことば(係紹介含む) 2 司会者あいさつ 3 運営について 4 研究発表 5 研究協議 6 まとめ 7 司会者あいさつ 8 諸連絡 9 閉会のことば	180分
16:40			

第3日 10月30日(金)

時程	行事	実施内容	時間
8:45	受付	・会場準備 ・各係配置完了 ・受付・宣言文の配布 (会員、主催者、文部科学省 議長団等着席)	25分
9:10	全体会	1 開会のことば 2 文部科学省の説明 3 協議 (1)議長団あいさつ (2)大会宣言決議 (3)その他 (4)議長団あいさつ 4 諸連絡 5 閉会のことば	75分
10:25	休憩	ステージ模様替え	10分
10:35	記念講演	1 開会のことば 2 あいさつと講師紹介 3 講演 4 花束贈呈 5 閉会のことば	80分
11:55	休憩	ステージ模様替え	15分
12:10	閉会式	1 開式のことば 2 あいさつ ・大会会長 ・大会実行委員長 ・次期開催地代表(高知県) 3 閉式のことば	20分
12:30	終了	・帰路案内	
12:30			



第60回全日本中学校長会研究協議会福島大会会長

全日本中学校長会会長 岩瀬正司

第60回全日本中学校長会研究協議会福島大会が、「夢と学びのハーモニー 輝く教育 みちのくの出会いから」を合言葉に、福島県郡山市で開催されますことを心からお慶び申し上げます。また、本大会の開催準備にあたられました大会実行委員長小野義明様、大会運営委員長溝井勇様を始め、東北地区中学校長会、福島県中学校長会の皆様のご尽力に心より敬意を表します。また、ご支援・ご助言を賜りました文部科学省、福島県、福島県教育委員会並びに郡山市、郡山市教育委員会をはじめ多くの方々に深く感謝申し上げます。

さて、昨年3月に告示された学習指導要領の平成24年度全面実施を控えて、本年度より移行措置が始まりました。この新学習指導要領は、改正教育基本法の理念を踏まえ、現行学習指導要領の目指す「生きる力」の育成を踏襲しており、作成の過程において我が全日本中学校長会からの意見も多く取り入れ、学校の実態に配慮した内容は評価できるものととらえております。この移行措置から全面実施に向けての取組は、教育の専門家であり学校の最高責任者でもある私たち校長にとって、その真価が問われるまさに正念場であります。期待していた「教育振興基本計画」に教育環境の整備、特に教職員定数の増加が盛り込めなかったことは、誠に痛恨事ではありました。しかし、巷間百年に一度と言われるような未曾有の経済状況の中にあっては、主張すべきは主張しても、やるべきことはやる「有言実行」の姿勢が求められています。

年度も後半になった今、この移行措置への各学校の取組はいかがなものでしょうか。人が足りない、物が足りない、不十分な経費の中での実施には確かに困難も多いことだと思います。しかしながら、手をこまねているわけにはいきません。教育の営みは、一瞬たりとも止めてはなりません。私たちの眼前にはこれからの日本・世界を託す夢多き生徒たちがたくさんいるのです。主張すべきは主張します。様々な関係機関に働きかけもします。しかし、私たちは学者でも評論家でもなく、教育者であり、実践者であるのです。

今大会で、私たちの熱い思いを込めた全日中教育ビジョン「学校からの教育改革」を提案いたします。昨秋の宮崎大会で概要を提案後、全国の役員・理事の皆様方から貴重なご意見を伺い、ほぼ1年をかけて作業を続けてまいりました。行政主導の上からの改革ではなく、また無責任な風説・突き上げによるものでもなく、教育の専門家にして学校の最高責任者である校長が、自らの明確な改革ビジョンを持って積極的に学校からの教育改革に迫るものであります。学校の主人公はあくまでも生徒たちです。確かな学力、豊かな心、健やかな体を培う学校教育の為に、全国1万人の校長先生方が心一つにして共に手を携え、取り組まれることを期待しています。

結びに、「未来を切り拓く豊かな人間性と創造性を備えた日本人を育てる中学校教育」の大会主題のもと、今大会が第60回という記念すべき大会にふさわしく、日本の中学校教育にとって画期的なものとなりますよう、そして会員の皆様方の益々のご発展を祈念いたしまして、あいさついたします。



第60回全日本中学校長会研究協議会福島大会実行委員長

福島県中学校長会会長 小野 義 明

全国各地からご参集の会員の皆様、ようこそ「人と環境のハーモニー魅力あるまち郡山」へお越しいただきました。郡山市は、昨年3月に「音楽都市宣言」を行い、各種音楽活動を積極的に推進するとともに、全国に様々な文化活動を発信しております。

この度、節目にあたる第60回全日本中学校長会研究協議会を福島県において開催できますことは、私たち福島県中学校長会にとりまして、誠に光栄に思うところでございます。昭和37年以来の開催となりますが、今回は、東北地区中学校長会研究協議会を兼ねておりますことから、大会スローガンを「夢と学びのハーモニー 輝く教育 みちのくの出会いから」として掲げ、会員の皆様とともに研究協議を深めることができることを大変嬉しく思います。

全日本中学校長会研究協議会が、今回60年の歩みを刻むこととなりました。本研究協議会は、これまでの大会において常に時代の要請を的確に踏まえ、将来の日本を支える人材の育成に中心課題において研究を重ね、その成果を全国に発信して参りました。改めて、全日本中学校長会研究協議会の歴史の重みを実感するところであります。

さて、今日の社会は、少子高齢化、高度情報化、国際化など、その変化は著しく、急激な速度で進展をしております。このような中、新しい教育基本法が制定され、その教育理念を実現するための関連法や学習指導要領が改訂されました。今年度は、新学習指導要領への移行措置のスタートの年度であり、各学校において改訂の趣旨を踏まえるとともに、創意を生かした教育課程を編成し、実施しているところであると思えます。

全日本中学校長会研究協議会では、これまでの研究を基盤において今年度より新たに、研究主題を「未来を切り拓く豊かな人間性と創造性を備えた日本人を育てる中学校教育」と設定し、研究を推進することになりました。この研究主題のもとに新たな中学校教育の方向性を探るべく、8つの分科会において研究協議が深められることは、極めて意義深いものと考えます。全国からの提案や実践に基づく成果を共有するとともに、今後取り組むべき中学校教育の課題について共通認識を持ち、各県各学校の実態を踏まえて着実に研究を積み重ねていくことが大切であると考えます。

郡山市は、将来の郷土を見据えた熱意あふれる先人によって、明治初期に安積原野（現在の郡山市を中心とする地域）の開拓と、猪苗代湖から安積原野に水を引く、安積疎水の開削事業が成し遂げられ、今日の発展の礎を築きました。開成山公園の一角に「開拓の心」という碑があり、そこには「一尺を拓けば、一尺の仕合わせあり、一寸を壅すれば、一寸の幸あり」という言葉が記されてあります。フロンティア精神の息づくここ郡山市から、全日中教育ビジョン「学校からの教育改革」を発信するとともに、記念すべき第60回福島大会の成果を基に、新たな中学校教育のあり方について発信できることに感慨深いものを感じます。

最後になりましたが、文部科学省、福島県、福島県教育委員会、郡山市、郡山市教育委員会、福島県市町村教育委員会連絡協議会をはじめ、多くの関係機関、関係各位のご支援・ご協力を賜りまして、本大会を迎えることができましたことに心より感謝を申し上げ、ごあいさつとさせていただきます。